



CAT EYE VELO 1

サイクロコンピュータ CC-VL100JP



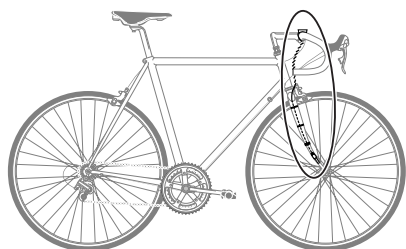
U.S. Pat. Nos. 4633216/4642606/5236759/5226340/5264791
Pat. and Design Pat. Pending
Copyright© 1998 CAT EYE Co., Ltd.
CCMVL1J-981116 Printed in Japan [0687422] 2



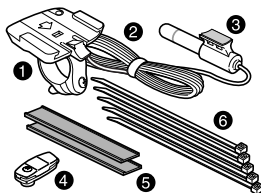
取扱上の注意

- ・走行中はコンピュータに気を取られないで、安全走行を心掛けてください。
- ・マグネット、センサー／ブラケットはしっかりと自転車に取付、定期的にガタやネジの緩みが無いか点検してください。
- ・使い終わった電池は誤って飲み込まないように管理し、定められた方法で処理してください。
- ・炎天下の放置は避けてください。またコンピュータは分解しないでください。
- ・コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤で湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使わないでください。
- ・押ボタンと本体の隙間に泥や小石がつまると、押ボタンが動きにくくなる場合があります。水で軽く洗い流してください。

自転車への取付

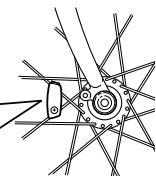
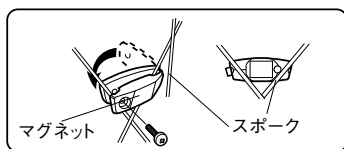


付属のパーツ



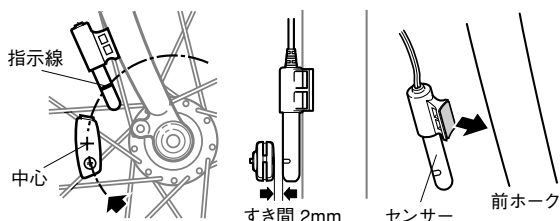
- 1 ブラケット
- 2 コード
- 3 センサー
- 4 マグネット
- 5 ゴムパッド
- 6 ナイロンタイ

1 マグネットを取付ます



マグネットは図のようにスポークを挟み込みネジで固定します。

2 センサーを仮止めします

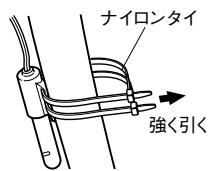


マグネットの中心とセンサーの指示線を合わせます。
マグネットとセンサーの指示線の隙間を2mm前後に調整します。
センサーを粘着テープで軽く止めます。

3 テストをしましょう

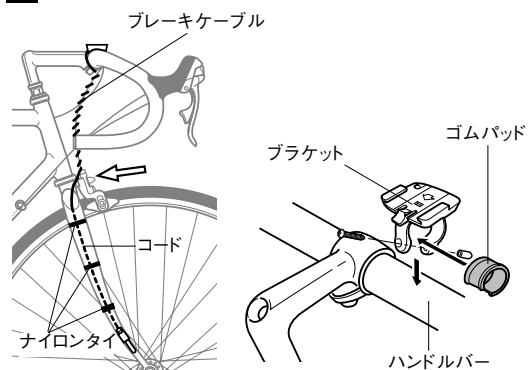
コンピュータの着脱に従ってブラケットに装着して前輪を軽く回してみます。速度の単位が点滅すると取付位置は正常です。速度の単位が点滅しない時はもう一度マグネットとセンサーの位置を調整し直してください。テスト終了後コンピュータは外します。

4 センサーを固定します



センサーをナイロンタイでしっかりと固定します。
△注意 ナイロンタイを絞める時、センサーの位置がずれないように注意してください。

5 コードの配線とブラケットの固定をします



コンピュータの着脱

レバー
スライド

コンピュータを「カチッ」と音がするまで差し込みます。接点は自動的に接続されます。外す時はレバーを押しながらスライドしてください。

コードはナイロンタイでホークにとめ、ブレーキケーブルに巻き付けてハンドルまで配線します。

△注意 ⇐ 部はハンドルを回したときにコードが引っ張られないように長さを調節します。

ゴムパッドはハンドルの太さに合わせて選択してください。

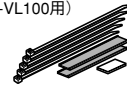
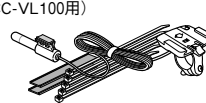
ブラケット／センサーの取付完了後に再度コンピュータを装着して、正しく作動するかチェックします。はみ出したセンサーバンドとナイロンタイはカットしてください。

アクセサリパーツ

*アクセサリパーツを別途販売していますのでご利用ください。

169-9770
ブラケットセンサーキット
(CC-VL100用)

169-9751
アタッチメントキット
(CC-VL100用)



166-5120
ホイールマグネット

166-5150
リチウム電池 (CR2032)



製品保証について

1 年保証：コンピュータのみ (付属品及び電池の消耗は除く)

正常な使用状態で万一故障した場合は無料で修理・交換いたします。お客様のお名前・ご住所・ご購入日・故障状態をご記入の上、製品と共に当社宛て直接お送りください。お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、当社より郵送にてお届けさせていただきます。

【宛先】

株式会社キャットアイ

製品サービス課

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL: (06)6719-6863ダイヤルイン
FAX: (06)6719-6033

*アクセサリパーツを別途販売していますのでご利用ください。

仕様

制御方式 ----- 4ビットワンチップマイクロコンピュータ(水晶発振器)

表示方式 ----- 液晶表示

速度信号検知方式 --- 無接触磁気センサー

使用温度範囲 ----- 0°C~40°C(32°F~104°F)

適合車輪サイズ ----- 16,18,20,22,24,26,27インチから選択

センサーコード長さ ----- 70cm

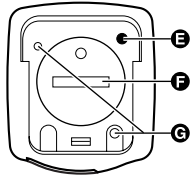
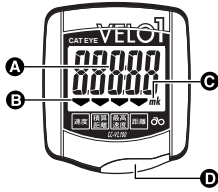
電源／電池寿命 ----- リチウム電池 CR2032 x 1/約3年

*モニター用電池はこれより若干短くなることがあります。

寸法／重量 ----- 45 x 40 x 15.5 mm/25グラム

*仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

各部の名称



- A データ表示
- B モードマーク
- C 速度の単位
- D 主ボタン
- E SETボタン
- F バッテリーカバー
- G 接点

コンピュータの準備

初めて使うときや電池を交換したとき次の操作をしてください

オールクリア操作をします

主ボタンとSETボタンを同時に押します。
画面は全点灯の後「K」が点滅します。

速度の単位を選びます

主ボタンを押す毎に「K(Km)」と「M(Mile)」
が切替わります。Kを表示してください。

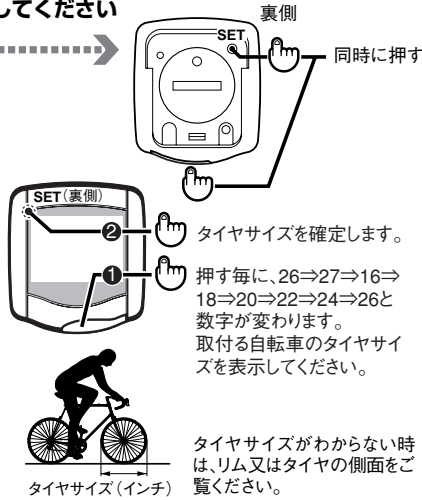
SETボタンで確定します

タイヤサイズを選びます ①

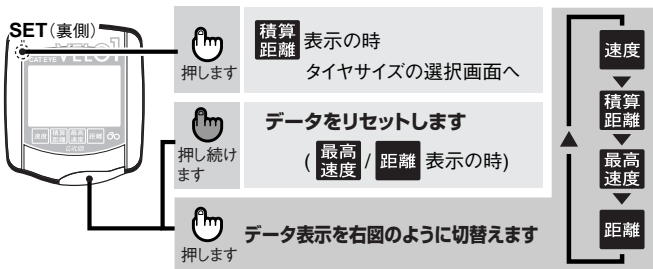
主ボタンを押すと数値が切替わります。
取付ける自転車のタイヤサイズを選びます。

SETボタンで確定します ②

準備完了 (データ表示画面)



使い方 (ボタンの働きとデータ表示)



自転車が走り出すと自
動的に計測を開始し、止
まると計測を停止します。
計測中は速度の単位K(あ
るいはM)が点滅します。

モードマーク ◀▶ は表示している数字が何であることを示しています。



速度 走行速度

0.0 (4.0) ~ 110 km/h

現在のスピードを表示し、1秒毎に更新します。
60km/h[60mph]を越えると整数表示だけになります。



積算 積算距離

0.00 ~ 999.99 / 1000.0 ~ 9999.9km

現時点までの積算距離を表示します。電池がなくなるまで積算し続けます。
10000kmでゼロに戻り引き続き計測します。



最高 最高速度

0.0 (4.0) ~ 110 km/h

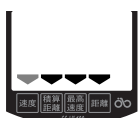
瞬間最高速度を表示します。60km/hを越えると整数表示だけになります。
リセット操作でゼロに戻ります。



距離 走行距離

0.00 ~ 999.99 km

スタートしてから現時点までの走行距離を表示します。
リセット操作でゼロに戻ります。



節電機能 (スリープ)

約70分間止まったままやボタンを触らない状態が続くと画面は節電状態になり、モードマークが点滅表示します。
主ボタンを押すか、走り出すと元の画面に戻ります。

トラブルと処理

全く表示がでない。

電池が消耗していませんか?
新しい電池と交換してください。

異常な表示がでる。

オールクリア操作を行ってください。

速度表示がでない。(速度表示が出ないとき、本体の接点を金属片で数回ショートさせます。表示されるとコンピュータは正常で、ブラケット/センサー側の問題と考えられます。)

本体あるいはブラケットの接点に何か付いていませんか?
接点を拭いてください。

センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?

センサー指示線とマグネットのセンターがずれていませんか?

マグネットとセンサーの位置を調整し直してください。(隙間約2mm)

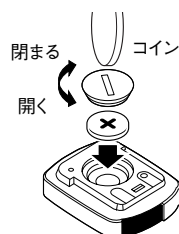
コードが断線していませんか?

センサーコードセットを新しい物と交換してください。

降雨時、走行中にスピードを表示なくなる。

ブラケットの接点の水分とゴミを良くふき取り、撥水剤(シリコングリス)を塗布してください。撥水剤はホームセンターなどで手に入るシリコングリスをご使用ください。一般の機械用グリスはブラケットが破損する恐れがありますので使用しないでください。

電池の交換



画面表示が薄くなってきたときは電池の寿命です。
交換してください。

リチウム電池CR2032は十側が見えるように入れてください。

△注意 電池交換後はコンピュータの準備に従い
オールクリア操作をして、速度の単位と
タイヤサイズを選んでください。